

2014年度第3四半期 IR決算説明資料

2015年2月10日

日本テレビホールディングス株式会社

**本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、
さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと
大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを
与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。**

連結 売上高・利益

(百万円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	増減率 (%)
売上高	251,384	260,709	3.7
営業利益	27,638	29,456	6.6
経常利益	34,291	34,793	1.5
当期純利益	20,323	21,809	7.3

日本テレビ放送網(単体) 売上高・利益

(百万円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	増減率 (%)
売上高	210,035	215,989	2.8
営業利益	19,974	26,300	31.7
経常利益	22,801	27,863	22.2
当期純利益	12,374	17,576	42.0

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	比較	増減率 (%)
放送収入	168,501	176,977	8,476	5.0
タイム	83,539	85,499	1,959	2.3
スポット	84,962	91,478	6,516	7.7

タイム	2013年度	2014年度
4月～9月	△1.8%	2.9%
10月	1.6%	0.0%
11月	3.2%	7.6%
12月	1.0%	△2.9%
10月～12月	1.9%	1.3%

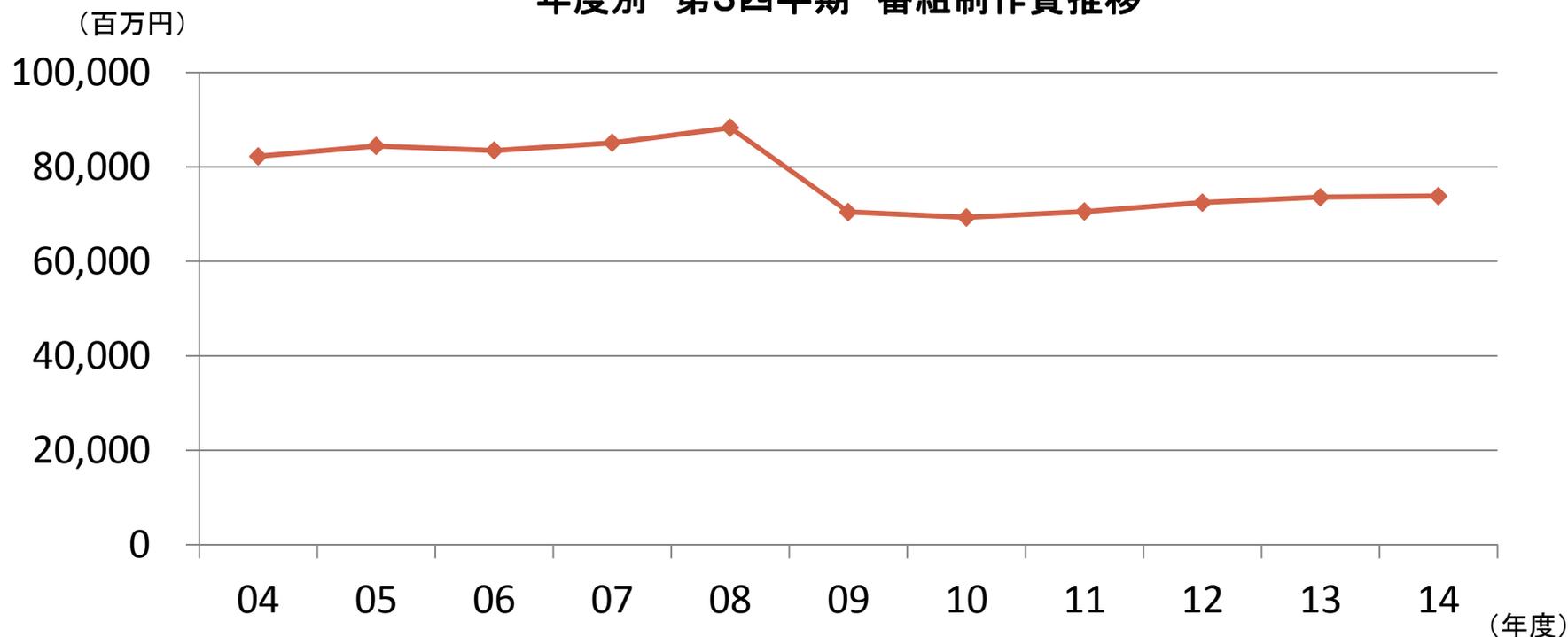
スポット	2013年度	2014年度
4月～9月	4.7%	7.5%
10月	11.3%	9.8%
11月	7.7%	1.0%
12月	△2.0%	14.1%
10月～12月	5.4%	8.0%

番組制作費 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	比較	増減率(%)
73,595	73,824	228	0.3

年度別 第3四半期 番組制作費推移



主な事業収支の概況 - 日本テレビ放送網 -

(百万円)

第3四半期		収入	費用	収支
映画事業	昨年	7,898	8,515	△616
	当期	5,887	5,612	275
通販事業	昨年	7,182	6,951	231
	当期	7,076	6,706	370
イベント事業	昨年	4,153	3,691	462
	当期	3,657	3,462	195

主なグループ各社の状況

(百万円:未滿切捨)

2014年度 第3四半期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
BS日本	11,132	6.2	1,848	△10.1	1,925	△10.1	1,226	△32.1
シーエス日本	4,029	6.1	590	16.8	608	16.9	360	12.2
日テレ・テクニカル・リソース*	7,717	1.8	293	21.2	323	17.8	216	29.1
日テレ アックスオン	15,600	1.2	1,013	△14.0	1,031	△13.5	648	△10.2
日テレイベッツ	2,065	4.1	123	△16.4	129	△15.8	81	△11.9
日本テレビアート	6,115	△1.2	283	7.8	300	7.4	191	11.6
日本テレビ音楽	7,925	8.6	1,227	5.0	1,293	△7.8	839	△3.6
ハップ°	11,110	△29.0	△1,419	—	△1,309	—	△1,311	—
日本テレビサービス	2,775	△20.6	196	△47.8	217	△45.2	136	△43.6
日本テレビワーク24	3,151	7.6	108	41.9	109	31.2	65	38.3
フオアキャスト・コミュニケーションズ*	2,139	△7.4	58	△31.5	117	43.5	67	36.9
日テレ7	3,686	18.0	167	△1.9	172	△0.3	108	3.4
タツノコプロ	1,528	—	137	—	138	—	83	—

※タツノコプロは2013年度第4四半期から連結のため、前年比較はありません。

業績予想と前提

2014年度通期連結業績予想

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表	352,100	38,200	43,300	26,800
今回発表	359,500	38,600	44,600	27,300

地上波テレビ広告収入と制作費 予想の前提(前年同期比)

	下期予想		通期予想	
	前回発表	今回発表	前回発表	今回発表
テレビ広告収入	△0.2%	2.4%	2.4%	3.7%
タイム	△1.8%	△0.4%	0.5%	1.2%
スポット	1.4%	5.1%	4.3%	6.2%
制作費	△5.8%	△5.8%	△1.1%	△1.1%

視聴率の状況

☆2014年「年間」視聴率で三冠王獲得！

- ・2013年12月から1月まで14か月連続で月間三冠王獲得。
- ・1月、4月、7月、10月クールと連続三冠王獲得。
- ・世帯視聴率と個人視聴率の両立。
→引き続きクライアントニーズの高い視聴者層の獲得。

☆改編成果を実感

- ・「全日」「プライム」「ゴールデン」「ノンプライム」「プラチナ」視聴率上昇
→朝から深夜まで、万遍なく高視聴率を維持。
- ・関東地区だけでなく、系列局でも好調な視聴率
→関東地区含む27地区中、24地区で年間三冠王を獲得。

☆2014年「年度」視聴率も三冠で推移！

2014年「年間」視聴率

期間:2013/12/30～2014/12/28

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.4	7.2	5.9	3.1	6.8	+1.2
	(+0.4)	(△0.6)	(△0.5)	(+0.2)	(△0.1)	(+0.2)
プライム	① 12.5	11.4	9.3	6.8	10.1	+1.1
	(+0.6)	(△0.9)	(△0.5)	(+0.2)	(△0.6)	(△0.4)
ゴールデン	① 12.6	10.9	9.5	7.3	9.9	+1.7
	(+0.6)	(△1.2)	(△0.4)	(+0.3)	(△0.6)	(△0.1)

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2014年「年間」番組視聴率

☆年間平均視聴率ランキング

民放レギュラー番組(ドラマ除く)

順位	局	番組名	視聴率
1	日テレ	ザ!鉄腕!DASH!	18.7
2	日テレ	世界の果てまでイッテQ!	18.3
3	日テレ	笑点	17.3
4	日テレ	行列のできる法律相談所	16.6
5	他局		15.8
6	日テレ	真相報道バンキシャ!	14.6
7	日テレ	ぐるぐるナインティナイン	14.0
8	日テレ	世界まる見え!テレビ特捜部	13.9
9	他局		13.8
10	日テレ	世界一受けたい授業	13.6
10	他局		13.6

*世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

☆日本テレビ レギュラー番組 昨年比

昨年比アップ率0.5%以上の番組

番組名	曜日	視聴率
水ドラ枠	水	+4.1
ザ!鉄腕!DASH!	日	+4.0
有吉ゼミ	月	+3.8
あのニュースで得する人損する人	木	+2.4
行列のできる法律相談所	日	+2.3
世界まる見え!テレビ特捜部	月	+2.1
世界の果てまでイッテQ!	日	+2.0
人生が変わる1分間の深イイ話	月	+2.0
世界一受けたい授業	土	+1.4
おしゃれイズム	日	+0.8
笑神様は突然に...	金	+0.6
しゃべくり007	月	+0.6
天才!志村どうぶつ園	土	+0.6
解決!ナインイアンサー	火	+0.5

2014年「年度」視聴率

期間:2014/03/31～2015/02/08

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.6	7.1	5.9	3.1	6.7	+1.5
	(+0.6)	(Δ0.6)	(Δ0.3)	(+0.1)	(Δ0.3)	(+0.3)
プライム	① 12.6	11.3	9.3	6.7	10.0	+1.3
	(+0.6)	(Δ0.8)	(Δ0.3)	(±0.0)	(Δ0.7)	(Δ0.1)
ゴールデン	① 12.7	10.8	9.4	7.1	9.8	+1.9
	(+0.7)	(Δ1.0)	(Δ0.4)	(±0.0)	(Δ0.6)	(+0.2)

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2015年4月改編について

☆改編コンセプト

【日テレビジョン】 『見たい、が世界を変えていく。』

【編成方針】

- ・三冠の継続と、プラチナ・ゾーンの制覇。
- ・ドラマを中心としたストックコンテンツ戦略
- ・レギュラー番組を強化、タイムテーブルの価値最大化
- ・総合編成戦略(3波＋ネット＋海外)

☆改編戦略

- ・ドラマ枠を日曜に新設、ストックコンテンツ戦略を強化
- ・「習慣日テレ」を継続、レギュラー・タイムテーブルを大切に番組強化
- ・次世代ソフトの開発、人材育成に注力
- ・3波(地上/BS/CS)、ネット(Hulu/キャッチアップ/日テレオンデマンド)＋海外展開
を見据えた総合編成戦略

主な改編タイムテーブル

	土曜	日曜
22時	嵐にしやがれ	おしゃれイズム
	ミニ枠	日曜ドラマ 「ワイルド・ヒーローズ」
23時	マツコとマツコ	
	有吉反省会	
24時	Going! Sports&News	Going! Sports&New

* 放送時間の詳細は省略しています

2015年上半期 主な単発番組

☆大型単発番組 (恒例の大型特番を含め、さらなる成長と定着を目指します)

5月放送予定 「7daysTV(仮)」

「かぞくって、なんだ」をテーマに、情報・報道を中心とした生番組、GPLレギュラー番組 & 特番で、様々な企画に取り組む1週間です。

7月放送予定 「THE MUSICDAY 音楽のちから」

日本を代表するアーティストたちと、日本を代表する名曲の数々を、たっぷりと長時間、生放送でお送りする日本テレビを代表する音楽番組。

8月放送予定 「24時間テレビ38」

夏の風物詩、日本テレビを代表する伝統の大型特番です。

☆スポーツ番組

3月～11月 「プロ野球中継」

3月27日の開幕戦から、巨人戦の注目カードを放送します。

9月～10月 「ラグビー・ワールドカップ2015」

2019年は日本開催。今大会(イングランド開催)も中継します。

株式会社ティップネスの子会社化



☆2014年12月25日付で(株)ティップネス全株式をサントリーHD、丸紅から取得、同日付で日本テレビHDの完全子会社とした。

☆事業内容:スポーツクラブ施設運営

総合型スポーツクラブ「ティップネス」:61店舗(関東、中京・東海、関西エリア)

24時間トレーニングジム「FASTGYM24」:12店舗(関東) ※店舗数は2015年1月末現在

☆業界トップクラスのブランド力と知名度

「顧客満足度1位」を獲得

※平成25年度 JCSI(日本版顧客満足度指数)調査 フィットネスクラブ部門

「生活・健康関連事業」を新たな収益の柱に

- ・「中期経営計画 Next60」に沿った成長戦略の一環(事業ポートフォリオの多様化)
【メディア事業】の多様化→動画配信サービス「Hulu」
【新規事業】として領域拡大→「ティップネス」
- ・日本テレビホールディングス直下の子会社に
ホールディングス直下の子会社とした点は新機軸であり、従来の「コンテンツビジネス事業」、
「不動産賃貸事業」に加えて、「生活・健康関連事業」セグメントを創設。新たな収益の柱に。
- ・生活者との新たな「接触ポイント」
「ティップネス」の有するリアル店舗は、これまで当社グループが有していなかった生活者との新たな「接触ポイント」であり、BtoCビジネス推進のフラッグシップとなる。
(高齢化・社会保障費抑制、マラソンなど市民スポーツ、2020年東京五輪の盛り上がりを背景とした社会的ニーズの存在)
- ・新たなシナジー効果を狙う
スポーツクラブ事業と番組制作等は、どちらも生活者の満足度を高めることを追及する
クリエイティブが重要であり、相互の取り組み、アイデアには無限大の可能性がある。
日テレの強みであるスポーツコンテンツ関連のノウハウも活用していく。

「ティップネス」の経営成績

☆取得前3年間の経営成績及び財政状態

(百万円)

	2011年12月期	2012年12月期	2013年12月期
純資産	4,033	5,027	5,395
総資産	25,513	25,258	24,955
売上高	30,795	31,592	32,940
営業利益	1,064	1,534	2,335
経常利益	715	1,222	2,002
当期純利益	△1,329	993	666

* 2015年4月から日本テレビホールディングスに合わせた決算期に変更になります。

☆「取得価額」と「のれん」

(百万円)

取得価額	24,375
------	--------

(百万円)

のれん	19,565
-----	--------

*「のれん」は暫定値です。



次頁から
補足資料です

営業収入 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期
放 送 収 入	168,501	176,977
タ イ ム	83,539	85,499
ス ポ ッ ト	84,962	91,478
番 組 販 売 収 入	8,249	8,186
事 業 収 入	31,257	28,822
不 動 産 賃 貸 収 入	2,027	2,002
合 計	210,035	215,989

営業費用 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期
番組制作費	73,595	73,824
支払電波料	21,793	22,387
代理店手数料	29,361	31,008
人件費	14,977	15,574
減価償却費	4,570	4,931
事業費	27,857	23,479
諸経費	17,905	18,484
合計	190,061	189,689

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

タイム	2013年度	2014年度	スポット	2013年度	2014年度
4月	△2.7%	2.4%	4月	△4.8%	△1.0%
5月	3.2%	0.3%	5月	△2.5%	15.1%
6月	2.2%	10.0%	6月	6.6%	5.0%
7月	△6.7%	5.0%	7月	0.6%	7.7%
8月	△7.6%	0.4%	8月	23.3%	11.0%
9月	1.8%	△0.2%	9月	15.6%	9.1%
10月	1.6%	0.0%	10月	11.3%	9.8%
11月	3.2%	7.6%	11月	7.7%	1.0%
12月	1.0%	△2.9%	12月	△2.0%	14.1%
10-12月	1.9%	1.3%	10-12月	5.4%	8.0%
4-12月	△0.6%	2.3%	4-12月	5.0%	7.7%

スポット業種別売上シェア -地上波(日本テレビ放送網)-

2013年度 10月～12月		シェア	増減率 (%)	2014年度 10月～12月		シェア	増減率 (%)
1	化粧品・トイレタリー	12.9	28.1	化粧品・トイレタリー	13.2	10.8	
2	運輸・通信	9.4	5.2	運輸・通信	11.6	33.2	
3	薬品	8.6	11.1	薬品	8.5	7.1	
4	電気機器	7.4	△24.0	輸送機器	6.9	5.4	
5	輸送機器	7.0	2.6	電気機器	6.8	△0.9	
6	金融・保険業	5.8	50.7	サービス	5.4	14.4	
7	サービス	5.1	35.5	金融・保険業	4.9	△7.1	
8	映画・演劇興行	4.4	5.6	卸売・百貨店	4.7	24.6	
9	非アルコール飲料	4.4	△7.6	映画・演劇興行	4.0	△0.5	
10	卸売・百貨店	4.1	△16.2	食品<乳製品調味料>	3.9	33.7	

* 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

日本テレビ放送網事業収支

2014年度 第3四半期 事業種別収支

(百万円)

	収入	費用
有料放送	6,038	2,789
ライツ	1,554	942
通販	7,076	6,706
映画	5,887	5,612
イベント	3,657	3,462
海外ビジネス	982	396
その他	3,628	3,572
合計	28,822	23,479

設備投資と減価償却（連結）

（億円）

2014年度第3四半期	設備投資額	減価償却費
連結	168	56

セグメント別 実績

(百万円)

2014年度 第3四半期	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンテンツ ビジネス 事業	生活・ 健康関連 事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	256,741	—	7,841	264,583	2,775	267,358	△6,648	260,709
セグメント利益	26,594	—	3,052	29,647	196	29,843	△386	29,456

事業区分	主な事業内容
コンテンツビジネス事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

*「生活・健康関連事業」セグメントを新設しました。第4四半期から計上します。

2014年「日本テレビ」世帯視聴率詳細一覧

	全日	プライム	ゴールデン
1月月間	①8.7	①12.6	①12.7
2月月間	①8.8	①12.5	①12.7
3月月間	①8.2	①12.6	①12.9
4月月間	①8.1	①12.1	①12.1
5月月間	①8.1	①12.1	①12.0
6月月間	①8.2	①12.0	①12.0
7月月間	①8.3	①12.2	①12.0
8月月間	①8.6	①12.8	①12.9
9月月間	①8.4	①12.8	①12.9
10月月間	①8.5	①12.5	①12.5
11月月間	①8.6	①13.0	①12.9
12月月間	①8.9	①12.9	①13.1

	全日	プライム	ゴールデン
1月クール	①8.6	①12.6	①12.8
4月クール	①8.1	①12.1	①12.1
7月クール	①8.5	①12.6	①12.6
10月クール	①8.6	①12.7	①12.8
年間	①8.4	①12.5	①12.6

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2014年「年間」視聴率上昇

期間:2013/12/30～2014/12/28

	全日	プライム	ゴールデン	ノンプライム	プラチナ
	6時～24時	19時～23時	19時～22時	全日ープライム	23時～25時
日テレ	①8.4%	①12.5%	①12.6%	①7.3%	②6.9%
前年同期比	+0.4%	+0.6%	+0.6%	+0.4%	+0.6%

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2015年 「映画事業」 主なラインナップ

公開	作品名	配給	備考
2/20	☆「花とアリス殺人事件」	ティ・ジョイ	岩井俊二監督の名作「花とアリス」から10年。再び監督自らの手で初の長編アニメーション化に。声の出演：青井優、鈴木杏、他
3/14	☆「風に立つライオン」	東宝	歌手さだまさしが、自身の名曲を自ら小説化した「風に立つライオン」が遂に映画化。主演：大沢たかお
4/18	「名探偵コナン 業火の向日葵」	東宝	大ヒットシリーズ第19弾!! 巨匠ゴッホの名画「ひまわり」を巡り繰り広げられる、華麗なる芸術的ミステリー!
4/25	☆「寄生獣 完結編」	東宝	お正月映画で大ヒットした話題作、映画「寄生獣」。大傑作マンガを山崎貴監督が映画化した超特大2部作の完結編。
5/23	☆「イニシエーション・ラブ」	東宝	「しゃべくり007」でタレント有田の「おもしろい!」という一言から大ブレイクし、100万部を超えた大ヒット小説が早くも映画化!
6月	☆「ストレイヤーズ・クロニクル」	ワーナー	本多孝好の大ヒット小説を映画化。ハードボイルドアクションで描くエンターテインメント大作。岡田将生、染谷将太、黒島結菜他
7/11	☆「バケモノの子」	東宝	細田守監督作品がこの夏満を持して登場。「おおかみこどもの雨と雪」に続く超大型エンターテインメント作品。
秋	☆「杉原千畝」(仮)	東宝	終戦70周年記念。ユダヤ難民にビザを発給し6000人の命を救った日本のシンドラー杉原千畝の知られざる物語。

☆日本テレビ幹事作品

2015年「イベント事業」 主なラインナップ

	期間	イベント名	内容
美術展	2/18～6/1	「ルーヴル美術展」 日常を描く 風俗画にみるヨーロッパ絵画の神髄	フェルメールの「天文学者」待望の初来日！ ルーヴル美術館だからこそ実現、風俗画の歴史を一望する、初の本格的展覧会。@国立新美術館
	9/19～ 12/13	マルモッタン・モネ美術館所蔵 「モネ展」-「印象・日の出」から「睡蓮」まで-	印象派を代表する作家モネ。印象派の語源ともなったモネの名作「印象・日の出」ほか、約90点をパリ、マルモッタン・モネ美術館から。@東京都美術館
舞台・音楽	3/8～3/22	ミュージカル 「ウィズ オズの魔法使い」	宮本亜門演出の傑作ミュージカルがパワーアップして再演！ヒロイン「ドロシー」はAKB48からオーディションで選出。@東京国際フォーラム
	3/24～ 5/19	ディズニーライブ 「ミッキー&ミニーのスターを探せ」	ディズニーキャラクターが続々登場。歌って踊ってジャンプして！キミが主役のノンストップミュージカルが始まるよ！@文京シビックホール大ホール
	4/25～ 5/17	丸美屋食品ミュージカル 「アニー」	映画「アニー」も話題の今年、伝統のミュージカルは30年目を迎え、さらにパワーアップ！ @新国立劇場
	7/18-22 8/20-24	ディズニー・オン・アイス2015 「Magical Ice Festival」(仮)	30年目を迎える夏の恒例イベント。今年は「アナと雪の女王」も演目に加わり話題沸騰。@国立代々木競技場第一体育館7月、横浜アリーナ8月